

「第33回かえで祭」でのアート作品です。

6月1日（金）・2日（土）に、本校の文化祭である「**かえで祭**」が開催されました。私は、今年**AAL（アート・アクティブ・ラーニング）**を提唱しています。これからの時代には「**アート感覚**」がますます重要になると考えているからです。そこで、今回の「かえで祭」で、特にアートとして完成度の高かった**2作品**を紹介します。

1つ目は、**ゲート**です。毎年恒例のゲートですが、今年の作品の「**色**」の使い方がアートでした。アートでは、「色」の使い方がとても大切です。ぜひ「**色相環**」（ドリーム第**337号**）を意識してください。可愛い絵とともに、楽しい色使いのゲートでしたので、多くのお客様がゲートの前で記念写真を撮っていらっしゃいました。

2つ目は、昇降口横の**壁面壁画**です。毎年テーマ合わせて作成される見事な壁面壁画ですが、今年の作品は、特にアートに満ちていました。今年のテーマである「**声**」をダイナミックに表現していました。私は、その壁画を観て、ノルウェーの画家**エドヴァルド・ムンクの『叫び』**を連想しました。実は、今秋東京都美術館で「**ムンク展—共鳴する魂の叫び—**」（2018年10月27日～2019年1月20日）が開催されます。本物の『叫び』を鑑賞できる**チャンス**です！。もちろん、私も行きます（^o^）！

